

## 本文

① 子曰、巧言令色、鮮矣仁。

子曰く、巧言令色、鮮なし仁。

② 子曰、過則勿<sub>レ</sub>憚<sub>レ</sub>改。

子曰く、過ちては則ち改むるに憚ること勿かれ。

③ 子曰、君子周而不<sub>レ</sub>比、小人比而不<sub>レ</sub>周。

子曰く、君子は周して比せず、小人は比して周せず。

④ 子曰、君子喻<sub>二</sub>於義<sub>一</sub>、小人喻<sub>二</sub>於利<sub>一</sub>。

子曰く、君子は義に喻り、小人は利に喻る。

⑤ 子曰、徳不<sub>レ</sub>孤、必有<sub>レ</sub>隣。

子曰く、徳は孤ならず、必ず隣有り。

⑥ 子曰、知者楽<sub>レ</sub>水、仁者楽<sub>レ</sub>山。知者動、仁者静。知者楽、仁者寿。

子曰く、知者は水を楽しみ、仁者は山を楽しむ。知者は動き、仁者は静かなり。知者は楽しみ、仁者は寿し。

⑦ 子曰、君子和而不<sub>レ</sub>同、小人同而不<sub>レ</sub>和。

子曰く、君子は和して同せず、小人は同じて和せず。

⑧ 子曰、己所不欲、勿施於人。

子曰く、己の欲せざる所は、人に施すこと勿かれ。

⑨ 子曰、君子坦蕩蕩、小人長戚戚。

子曰く、君子は坦として蕩蕩たり、小人は長へに戚戚たり。

⑩ 子曰、剛毅木訥、近<sub>レ</sub>仁。

子曰く、剛毅木訥、仁に近し。

## 設問

- ①の白文「巧言令色、鮮矣仁」を、すべてひらがなで書き下し文に直しなさい。
- ①「巧言令色」とはどのような態度を表すか。「言葉」「顔つき（表情）」の二語を用いて説明しなさい。
- ①「鮮矣仁」の「鮮」の、ここでの意味を答えなさい。
- ②「過則勿憚改」の「勿」の用法について、次の問いに答えなさい。

- (1) この「勿」が表す意味(はたらき)を漢字二字で答えなさい。
  - (2) 「勿憚改」の部分を書き下し文に直しなさい。
5. ③「君子周而不比」の「周」と「比」は、それぞれどのような人付き合いの仕方を表すか。簡潔に説明しなさい。
  6. ④の章句で、孔子は「君子」と「小人」を何によって対比的に区別しているか。本文中の漢字一字ずつを抜き出して答えなさい。
  7. 『論語』で理想の人格とされる「君子」とは、どのような人物か。これと対比される「小人」とあわせて説明しなさい。
  8. ④「君子喩於義、小人喩於利」の「喩」の、ここでの意味として最も適切なものを答えなさい。
  9. ⑤「徳不孤、必有隣」を書き下し文に直しなさい。
  10. ⑥の章句における「知者」と「仁者」の対比について、本文に即して説明しなさい。
  11. ⑦「君子和而不同、小人同而不和」について、「和」と「同」の意味の違いを説明しなさい。
  12. ⑧の白文「己所不欲、勿施於人」を書き下し文に直しなさい。
  13. ⑧「所不欲」の「所～(所+動詞)」が表す意味を答えなさい。
  14. ⑨「君子坦蕩蕩、小人長戚戚」とは、君子と小人の心のありようがどのように異なると述べているか。説明しなさい。
  15. ⑩「剛毅木訥、近仁」とあるが、孔子は飾り気のない実直な人柄を「仁」に近いとした。これと正反対の態度を述べた章句を、①～⑩の中から一つ選び、番号で答えなさい。
  16. ②の章句を現代語訳しなさい。
  17. ④の章句を現代語訳しなさい。
  18. ⑤の章句は、徳を身につけることについて、どのようなことを述べているか。説明しなさい。
  19. ⑦の章句から生まれた四字熟語「和而不同(わじどう)」の意味を答えなさい。
  20. ⑧の章句を現代語訳しなさい。また、この章句で説かれている「仁」の具体的な内容を説明しなさい。
  21. 『論語』の中心思想である「仁」とは、人に対するどのような心か。本文全体をふまえて簡潔に説明しなさい。